This copy has been provided by the UBC Archives [or UBC Rare Books and Special Collections] and is to be used solely for research or private study.

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-15

II.31

PLEASE RETAIN
ORIGINAL ORDER

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-15

共産主義

おことはり

一九四五年十月号

リーダーズ・ダイジェスト

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-15

共産党おこと わり

CIOの故の共産党勢力の拡
する反抗・ストライキ 一九四六年十一月号

今や世界動乱の波は東方に・・
品位のやうな共産党を
ユニオンから駆逐せんとする努力
の大波が全米に押し寄せた
共の運動を
は明白で、CIOは他の二つの
極た資やかをれを
共一は現在の米・ソの国際的等
識に際し、事毎に共産主義者が
職の援助をうけ
ニオン全体が
論市国体である

[illegible]

し、今一つは、右の猜疑が更くのC
IOの現今実行者達を
CIOから脱しさせAFLへ入会
ちる傾向あるに成りはしありか
と言ふ事ちる。
　勿論CIO全体が共産主義の代
理人だとは言ふ事は大きな誤りだ
ちるが、今や共の誇った考へ方が
段々抜って来つゝあるのだちる。
　例へば、現在CIOの最高幹部
連は南部へアラバマ、ルイヂヤ
諸州）に於ける労働運動に煽動は
共産主義者を排撃してゐる。
　数百人の組織運動家の一人とし
て、世間に認められてゐる共産主

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-15

我者又たは共の近方れの人をへれ
を含めいの如き労働者政治移民の働らく米
黒人や下層の南部諸州の労働運動に一個
西の東南部諸州の共産主義団体で自称「南部組織
の共産主義団体と言ふのが出来CIOから
援助団」と言ふのが出来CIOから
ら派遣された南部組織運動総
指揮がり、エー・ビトナー氏に
指揮方申し込んだ所、ビトナーは
猛烈な語調で「番寛容な男」と
「全CIOの中で」
西海岸ニオレの会頭エヨー、カ
ういうは九ヶ年間共産主義の両端
のワナに取り巻かれて騒がしい中
にもこつくと睦まじく勤めを果た

Turbulently- Amicably 騒がしいにも平和に睦じく

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-15

が、今や公々然と彼等と別れた。
其理由は「彼等の団的と云る所は
政治問題乃パンの問題乃至い」と
の一語だった。
益々決定的に非共産主義と云の
ユニオンは共の共産主義者会を
圧服に努力して居る。
又ロン、ゴルドン氏は海運業内が
造船工組合の会頭はCIOユニオン
ン内に共産撃者実共の関係者
が、ユニオンの幹部要職につくる
来計画を禁ずる「ユニオン規約の
厳重な励行を指令した。
組織委員が由と共産主義者と認
められたら、直ちに解任された。

後 Quell 圧服 Spectacularly

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-15

地方支部は共産主義者とその
繋がある者を役員に選挙した場合
、直ちに改選を命ぜられた。
がリー氏の主張は「ユニオン組合
はアメリカの民主主義に根底を置く
可きで、外国のイデオロギーに依
る可きでない」と
CIOの副会長職ユニオンの会計
モリス、マスター氏は彼れの支配
する ユニオンが共産主義者の勢力下
ありそれを援助する事を摘発され辞職を迫られた。
「共産主義者及び共の同調者
は実に危険な毒々しい連中だ」誰

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-15

私が彼等と協調をして事を行ふ事を
進歩的だと考へる事は心がけちがひだ、私は自分の体験から・それを
知ってゐる・全労働運動から彼等
を排除する事が目下の急務であり・
彼れ等はスターリン的のものに
は全く有害な存在である」（一九四六・一・廿）

マスター会社の家具職組合支部がCIOの脱退（積極的に共産党を支持してゐる）
家具職工除名にオルに加盟した。
これがアトムの家
Upholster-家具職

紙会から脱会
フヤの工
共産党から逃

の一人・ヒラヤン
ヨーダ・ブッチャーは
た丈けで無く・攻

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-15

勢に出た。即ち組合はつぎの
ヤのCIO二オとの幹部争
急激に増加を物に
として居り、他の同盟者考へて
居る各支部の役員意と連絡を
度を我者の対抗戦を続けて居る。
斯かした状況は国下米西の労働
衆に知られて居る程の(C.I.O.)
皆は普通の通り言葉に成って居
る。

聯合自動車工組合長のウオルター
ルーターは挑発主義を取近
葉を述べて居る。

「CIOの皆さん(吾々のユニオンを公平な)
者は……の立場に置かれ(組合を考へ)
(仏)立場を変へる」

現在会頭が共産主義者で共●長
配下に在る二大ユニオンが在る。
マイル・エル・スメルター就働者
組合及び電工組合であるが、双方共
の共産主義者の反配に対して反
抗が拡大ち、あ
マイル、エル、スメルター組合
ては、共の地方の
支部役員及び他最高役員の役
員達を危告する「正面ふ抗争者達
の看守会」が出来を在る。
支部の役員会が、ユニオンの
予算所に於ける
共産主義者の行動を阻止し、彼等
を除名出来る様な
おける決議文を通過した。

ゆそユニオン
エキゾゾブ
委員会は僅かの差で共産系の支配勢力と成って居る、即ち対五、

此のユニオンでは・他所にも沢山・共例はあるが・共の勢力を少しく好機会に於ては情勢を一変するのが出来るのである。

電工組合の中には民主々義守委員会が在って今年（一九五〇）八月に共の十一地方の支部の中十個組合から他脱退して総会を開催した。

共の後任はハリー・ブラウ

此人は内務電工組合の副会長ペーテルゼンヤがCIOユニオン幹事を勤めて居る男である。

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-15

共の結合で「CIOの指令主義の
声明」は誠実を採用した、それは
期劃的に率直なものであった。
「小数派の共産主義者達が吾々の
内面事務所、吾々の出版委員会、
吾々の指導役員、吾々の新聞紙、
及び或る地方役員会及び支部等の
支配権を占領した。
斯る状態に置かれた人達は全ユニ
オン会員に対し左翼に不均等な負
担を課した責任を持たねば成らぬ
、即ち彼等は吾がCIOユニオン
の福利に反するのみならず、吾が
アメリカ政府の方針に違反する等
の状態を醸し出すのである。

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-15

彼等の努めを尽す事は電工組合を
通じに使ってソビエト聯邦の政
略の拡張をしてをるのである。
此等の人々は新らしい日ヤマ
氏と吾々の間の理解と善意伝達を
妨らしい手段で常に妨害しつゝあ
るのである」
此の卒直ある声明は電工組合の
正統派の全員の間に大歓迎を受け
た、結果として根くの支部は組
オルの予算の政略宣伝を二
は「共産を義
は、共全員に罷課
言をした支部が沢山あつた。
彼達は正式に内田二オル後

（共産党系）の援助中止を警戒
した。統一は又たCIOの電工組合
を中心とした電工組合へ集り替へ
る運動を試みた。
不幸にも、そんな処迄手は
ユニオンの許た合が近くあってか
ら初められた為めに、已に大会の宝
権は共産派掛撃熱で已にとりきめ
る事出来ない点に成ってた。
此のユニオン大会では共産派は
惨敗を喫した、
彼等は此のCIOユニオンの幹
部のオルスン・ピーターソン、カレーから多
少の同情を得られると思つた。カ
レーは電工組合の会員であり、彼

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-15

北は世界聯合産業組合の組織者で
あつた、彼れは共産主義
の活動をアメリカ
双方から監察して居る、彼れは言
フアメリカの共産主義者は一種の
クサズリがだい、彼れはソ聯の外
交政策に奴隷的に服従する為の政
治的殖民地の一員なのだ、彼れは共
産党政策の為めには通信員の役目
を演ずる、彼れはソ聯を攻撃する
性格を暗殺せんと
大体軍に共産主義のイデオロギ
ーを売りに賛成する丈け
毒は色いの位し吾輩
で民主主義社会に

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-15

を成すに於ては、断乎として之れを排除せねばならぬ」を考め、之れを

CIO ユニオンの幹部均等者が此共産主義或は共産破壊派の人の

有する組合の会員数は、幹部均等者が共産主義の組合よりも会員が著しく多い。

CIO各支部は、それぞれ自分の組合の役員は甚の支部会員が選挙するのであるから、共産主義の勢力のある所では会員各自が少しく気を付けて居なければよいのだが油んやりして居るから案外知らぬ間に電工組合の重要な・・・
る場合が多いのである。最近乃ち
1ヶ月ニオンの内面統

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-15

聯合大会への代表選出の経過を
簡単に述べる。代表の支部は一万二千人の
会員を擁して居るのだが僅か二百
五十人位の小支部であって、大
会への代表は大多数で左翼に取り
出そうとする企図が有る。
今一つ新労社員組合の例を挙げ
ると、其の組合では幹部は右翼的
であった。何時の間にか左翼的
運動をされる由もの多数を占め、そこで右
翼連の主張に依って幹部は正統会
員全体の一般投票に依って定める
事に成った：即ち一般投票
の内五二%を幹部は完全に右翼
に移り・其の幹部はそれとそっく

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-15

レーを幹部とする役員は現なして
ゐるが、彼レマレーは(ニューヨーク支部)代の組合の
代表者(男子)が出来あい、何故か
ア・其の支部は八千名の会員を持
つてゐるが・メンタは五、六名の人
由緒に出席する事が無い、無も
其の支部の指導は花嬢が年年って
ゐるからである。
アメリカ労働運動の共産主義者
達は絶合には早くから出席し遠く
迄幸地する、翌(昭和)年迄も乾張る。彼
等は誠実法(医)や雄弁術を研究する、
彼等は、各時乾燥系産業統中より
も研究し、労働時間と給料に関も
る方針を実行の時機に提供する。

Allureing クラシコム、誘惑

彼等は間斷なく不撓不屈の指導者を提供する、而も彼れ等は他の會員の嫉妬や四面楚歌の聲の裏にあって伸張するのである。

CTのかく清戰は初めから各支部が統一的に掃蕩するの計畫・積極的 Indefatigable

カーラルは自ら共產主義者除名 Incessant = Constantly

多數をたのみ如く誇る、

一、勞農を敵をやうが、妥協を除、

くの「多くの產をは拒絕らく」

「赤」は反對を叫ぶが、此の等を

改善し得るのである。

二、何人と雖ともそれへを斷って

は成らぬ、ユニオンへかれへを

ふいう事は仕事をふへる・話
的も生きる為めに
三、同業者の労働条件の改善を試る
人を通じて「赤」と呼んではいけない。誰も気持ちいゝ
はない。
四、紹介の指導者は共産党がよう好い人を出せ。
りも受く、又つ好く、自分達の
五、会員個々に二オンに常に興味を持たせる事、給金には絶対
的に出席する事。
六、会員全部に好く話をつけ
一ヶ月一ヶ所
江湖会
各自、何か研究

従兵が居るかを
若し従兵中にそ
直ちに之れをあ
兵を交代をせる
新たに選ぶ者は
心和的手段を
CIOの動向
Iは、共産系
対し長らく我慢
うやうやしく
鉄工組合長と
にたの如く言つた。

当組合は当組合の事務、方針に
関し、決して外部からの干渉を
断つて、共産主義的社会を

我でも乃至他の国体から、差
口や抗議やを申し
うるい」と
共時以来マレー
産を我に特別な好意を持ってる
所のC工0級官
眼を前へた。
ロレンゾ、ヨアメン紀念の字
長、ハリー、ブリヂは全カリフ
オルニヤのC工0本部(ディレクター)
たが、マレーは南部カリフオルニ
ヤをブリヂの支配から解いを跳
力を抗議運動我のデ、セトうに支
配をせるようにした。
撤廃産業我の産をは、労働運動

許しをはあ
一千時
イラスセンター
Infiltrate 浸潤 meddle

の指導者となる国家の組合内に共
産主義者と称した数の極悪主義
重要指導者とは全然無関係。
産主義政府は、ユニオンとは
の共産主義撲滅戦に喜んを入れを賛
は云い方が好い、此の為ひはよう
しくユニオンの人達に任せを置い
を云いたいもの。組合の人
産は共産主義と組合運用についを
は充分知つた上私の戦ひ方あり
ら
共産主義者が文配権を持つた
可成の長くの二オンとは、彼等
共産主義者はユニオンの僅かの差と文
配権を持つてゐるの如く云ひ

した地盤を持ち、少々の政撃に耐え得るのは僅かに八組のこと10ニオて丈け的ある、
共れ等ニオての歩合我合政の名を挙ぶると、
毛皮工(ゴム、コールド)・ラ
勝所働組合(ルイス、メリル)
土木組合(アカラハム・フラキリ
ー)運搬業組合(マイキ・クサル
ロニグ、ニクロアー・マン(ハリー
、フリッチ)農業関係組合(グ
ラント、オーケスコ)食料品組合
(ニ就勤者組合(ドルトル、ヘニ
ソン)アメリカ、ニクレー
ション(通信関合(ジョ

前記の八ユニオとの統合数は
僅か五十万人であるが、初めて現在
CIOの総会数は二百三十万（
一九四五年十月現在）であるのに
多ば、産業や政治発言は安心
しを可ありである、CIOの共
産主義勢力は、これから見られる、
数多の問題点の統一と協定と
吾々は中央政府の法律を擁護
監獄と共の指導勢力を擁護する多
は可能であるが、アメリカ式の遣
り方に於ては民主主義的組合体
主義のアメリカ精神の啓蒙の後で
に湧き起る正統ある行動に依って
CIOユニオンから共産主義者を

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-15

駆逐艦の砲あり
唯アメリカを信ずる者のみが、
此の非常運動の結果を信ずる
あらう。

十一月十一日晩稿

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS
FOLDER NO.
2-15

本書を
産業の経営者、労働者、又は経営者の
学校、労働者教育にたづさはる人々等、凡てその
生産と経営の衝に当る人々の相互間に
理解と協力
互助
必要ある人々に捧げる

特につゐてゞマレー氏（現ビルマ首相）と「紅緑
労働と生産」を共著したM.L.クック氏のゞ

「民主産業の原動力」の共著者「経営者
あり「労働者でもあるC.S.ゴール氏等、
永年此の方面の指導
に対し敬意の拍手
を両氏に捧げる、

結言

一、史的配景

両家危急存亡の秋（とき）に当（あた）り、両者（りょうしゃ）とも労働者（ろうどうしゃ）、両者（りょうしゃ）ともに生産（せいさん）の必要（ひつよう）に迫（せま）られ、経営者（けいえいしゃ）と労働者（ろうどうしゃ）とが協力（きょうりょく）しなければ成（な）らぬ必要（ひつよう）に直面（ちょくめん）した。茲（ここ）に共通（きょうつう）の経験（けいけん）が生（う）まれ、共通（きょうつう）の努力（どりょく）が互（たが）いに習慣（しゅうかん）となければならぬ。

家庭（かてい）が営業（えいぎょう）と労働（ろうどう）の為（ため）に労資（ろうし）が協力（きょうりょく）し、互（たが）いに理解（りかい）し合（あ）うようになるのである。

茲（ここ）に今日（こんにち）は昔（むかし）の敵（てき）は今日（きょう）の友（とも）という諺（ことわざ）の如（ごと）く労資協同（ろうしきょうどう）の経験（けいけん）から何（なに）かを教（おそ）わり得（え）るか、それとも敵（てき）の罠（わな）に陥（おちい）るかを決（けっ）せねばならぬ。

茲（ここ）に労資協同（ろうしきょうどう）はアメリカの歴史（れきし）には何（なに）も更（さら）に珍（めずら）しくない、昔（むかし）も数十年（すうじゅうねん）前（まえ）から個々（ここ）には実例（じつれい）せられ、あちらこちらに実行（じっこう）されたのである。

が大規模（だいきぼ）に実施（じっし）されたのは陸軍（りくぐん）の口ッ（ロッ）アイランド兵器廠（へいきしょう）に於（お）てを第一世界戦争（だいいちせかいせんそう）の最中（さいちゅう）並（なら）びに戦後（せんご）

一万三千人の労働者（から）
と盛業家が（始められたと言つてよい
一九二二年から始めて、労働組合は益々発展
しハルチモアーのびオハヨー鉄道が採用
が未だ及ばざるの例
に到つたのである。
鉄道当局者が発見したるは従来のやうに
軍隊等に保護を求めて
会合を開き
会場に保護
会員の中に
のとは雲泥の差があるを発見したの
従来其の罷業解決
見るが如き方針を
の
人の
者の

共存

(会社と従人とのいろの協力精神が欠如して
居るところから 就業給下の 労資紛争に困り抜
いて半病人のやうに成つた企業は全国の業
はかりでなく、或る老練な産業技師の計算によると
労働力の旺盛な生産能力は アメリカの最も
業でも全能率の八割程度で、もしそれ以下の
五の大労働の立場に到つては人力能率の半
分半と見積るは よい方で それ以下の能率
成績の立場も沢山あるのである。

即二世諸君が我が姉のそれから・・・の代理人
達は請負仕事に於ける戦時用品が限りに
出来上らないのが 悩みの種である。
ついた・そこで軍需品の制産を急がせる為
め 種々試みられた方法の中で・労・資・協力の
奮発等の実現を標榜の要旨であつたと 謂えよう。

労資委員会(労資協議会)
得し共の真の性質と
ある者が些く、残念ながら天降り式名称
全に統らたものから多かったのうらみ
努力ある今日があったのうらみ
機関にとゞまるかについて
有名無実
あった(ある)
労、資、(官)が(固く)持つ(た)ならば勢力を
ある(る)に依って、我国の
労働
労資委員会(協議会)
の機能
の実施運動と共に
意が、未だ
労資委員会(協議会)
智にも機械的に
能力を資探
を記
た
た
た
障碍
ある。
百パーセント
成績
別紙
労、資、官
人々、信ずる
力の存在
の確信
労資委員会(協議会)
の中に
労、資、官
並びに一般

主義信ずる人は極めて希ちの
感じした意味問題の著者は（読者もそうである
が）多数の種類の労働問題に関する書物を読み、
めり、悩めるいの労働問題の悪感情の
ほとばりや又た立場関係の複雑多岐な情実、
に悩ひされ拘束をれる本書の著も二方面
から普通に着した、完全な労働問題を取扱ひ
吾々は人々の気持ちの上に重点を置いた。
印ち責任感
おをおければならぬ前に
不満足ながら同じその立場に適合
する様に又普通一般の工場の事情
に適応する様に本書は職工の生活、
を保ち乍ら同じ工程
工場の仲間や業務
上の交渉に於ける
たる点の労働協同の為に
べた点の組合本位とを捨
て故意に労働者諸君の
為に筆を執ったものである。

可能の最高限度の生産を成し全国民の生活
標準を高めるために氏の知識と技術を使はるゝならば
着者の願ひは果されるのである。

キャンプ生活の情報を待つ。一八の朝。

TASUTARO PAPERS
FOLDER NO.
2-15

第一章

増産は何のために

増産と新時代

現代の大量生産が実現される前は新時代(これは事実だ)と些かの程度を異にするものであつた。故に大量生産と言葉を換へて言へば増産が世の常に在つたのである。労働者は増産の為めに働らかされたのである。

吾々は今や新時代、代々の豊富な、

(進歩主義の経営者の許に熟練工)

技術家の豊富な新時代である。

の言ひ分は増産の標準と能率とを

左の如くである。

故に大量生産の現代に於ては進歩的経営者と工場全体の工場組織化、団体交渉は時代の要

TASUTARO PAPERS
2-15

れと早急りとしてゐる・吾々の境目を論ずる必要はない。

吾々の
其代りに、問題は（労働）者の責任をどうとるかを果し得るか（組合）が生産増加に対する（協力）労働者側の協力をとるには最善に活用とを除合を産業会議（福祉）の如き機関の下に於ける（協力）の如きである。

此のおらしい生産関係の如果的効果の為に一歩進め得る為の（硬直）第一世界大戦終結後十五年間は組織労働者の進歩を阻止した、此の十五年の間には一九二〇年の最高潮もあったし其後動揺

一九二九年の世界恐慌の左翼人的不景気は代

此の第二次大戦からドル底への景気の急降下的は

心ある アメリカ人に考へさせた、其結人的不景時代に

一番生きる為やられた帯小商人や農民の組織を解体する一助としてお互に努力をつゞけたのである

成熟した社会における労組

最近の長期に亘る不況時代の給料生活者の一
悩める点(傾向)と共通な動きが現在の二三七比較大き
騒擾したのである。而して特に目立つのは全工
場の二三七化の方針の下に当局た新型の労組
が急激に発生しつつある事。過去十五年
間にアメリカの二三七は総じ今日、一千五百万に達
する迄に成長した。

已に紹介の様に労力者達は今日迄の過程の
上に種々な経験を積んだ。労資間の階級闘争を
を、労資協調の為に費やした。それが基礎と成つ
て、大部分、労力階級全般の福利増進の為に、一組合の一会
員としての相当の待遇を得ようと云う、労資協
調の関係を協力工作に依り円満に解決する方法を協力

に代つてるのが実際の有り方である。

経営の経営状態、労働の労働条件と労働階級が経営者に圧迫されたりについては該当論点の議論をするのが当然であるが、今日の日経連の結果は、労働者の団結の問題、労働者の生活要求の問題、政府の政策が大切な役割を演ずるのであるが、それは国体変革の範囲で、それは政府の政策が大切な役割を演ずるのであるが、それは国体変革の範囲で、それは政府

そもそもは国体変革の問題を知らねばならないものである。

2、労働者の団結の要求が、労働者と経営者と労働者が工場の内側で相互の努力によつて経営を成り立たせるのが、それは単に経営者側の努力によつて経営を成り立たせるのではなく、相互の協力によつて経営が立ちゆくのであつて、相互の協力精神から、それを到達しうる方法で解決されるべきであつて、経営成績、生産成績、生産能率、経営問題をも容易に前進させるのである。

経営者側の自らの働らく人々は日々の仕事場の実際の問題について、会社側ではそれが判らないのである、又一方働らく人々は会社の経

多数労働者の雇傭問題について
特に今日の上層部の人々は工場の隅で働く人々の
仕事の微細な改良点、および一つの商品を仕上げる
工程を経る根本的な改良点、および尚更知る由もない。
合致し、製品が部分に働らく一人一人の細心の注意と
工作方法の改良に依って品質を改善し、時間の節約
より増産の実を挙げ得るのである。
此際断然改革実行の必要がある。
故に文面で人の敏腕と働らく人の誠実が一つの
鎖に結ぶと、両者が互に協力して初めて
あり得るの精力の浪費を除き、自己を発見する
であろう。
仕事について自分の仕事を色々と考えるのは重
当然であるし、働らく人が自分の生産を向上
実際に
等する為めに例えば
守を改良するとよいとか
故障を起こすのも
故障は生産を増す事を妨げるから

対、積々お断隔を並べ立てる。即ち家は今社会
が忙きないからだと言う、
今社会的な、忙がしく
なし、機械を新式に取り代へた為め其他の方法で生産
費に大変節約が出来るものを知つてはをるが義と細
雑務に忙殺されて、新
から、有らゆる陳腐の方法でやろうとする
代りに積極的に
が働らく人と共働する
方の立場は生産
不可能ふの点がある、
多くの場合経営者
を活用して
は働く人々の気持ち
を、次に、その為の方法を試みるが如きである。